

令和2年度 児童アンケート集計結果

- 4:よくあてはまる
- 3:ややあてはまる
- 2:あまりあてはまらない
- 1:まったくあてはまらない

評価項目		全学年の児童の評価割合					
		4	3	2	1	平均点	昨年度
くらしのこと							
1	てあらいマスクおもしろいやりきをつけた。	60.0	36.0	4.0	0.0	3.6	
2	黙々そうじができています。	54.0	42.0	6.0	1.0	3.6	3.3
3	自分から進んであいさつや返事をしている。	52.0	38.0	9.0	1.0	3.4	3.4
4	ろうかを走らず、静かに歩いている。(1・3・4歩き)	35.0	44.0	17.0	3.0	3.6	3.4
5	トイレのスリッパは、次に使う人のことを考えて並べている。	55.0	32.0	10.0	1.0	3.4	3.8
6	給食は残さず食べている。	67.0	18.0	9.0	4.0	3.5	3.6
7	学校は、楽しい。	72.0	22.0	4.0	1.0	3.7	3.6
学習のこと							
8	先生や友達の話をしっかり聞いている。	52.0	41.0	3.0	0.0	3.5	3.5
9	自分の考えを進んで発表している。	39.0	32.0	21.0	8.0	3	3.1
10	授業で分からないことがあったら、質問している。	37.0	28.0	23.0	12.0	2.9	2.8
11	家庭学習をきちんとしている。	67.0	22.0	7.0	2.0	3.6	3.6
先生や自分のこと							
12	先生は話(考えやなやみなど)をよく聞いてくれる。	72.0	25.0	2.0	1.0	3.7	3.7
13	先生は、よいことをしたり努力したりしたことをみとめ、ほめてくれる。	73.0	23.0	3.0	1.0	3.7	3.7
14	先生の授業はわかりやすい。	73.0	24.0	3.0	0.0	3.7	3.7
15	将来の夢や目標をもって、努力している。(3～6年のみ)	46.0	38.0	12.0	4.0	3.3	3.3

児童アンケートの考察

【くらしのことについて】

- ・感染予防対策として取り組んだマスクの着用率については、校内では100%達成できています。今後は正しいマスクの着用、登下校時のマスクの着用等、児童の自律した姿の育成を目指します。
- ・校内のあいさつやそうじの仕方、廊下歩行については、児童会の取組や、高学年の手本が示され、かなり改善がみられています。「学校が楽しい」の項目での評価の高さの要因も、自己有用感の高まりからと推測されます。よりよい学校を目指す校風として定着させるとともに、今後はさらに、個人差のある基本的な習慣の定着も目指し、夢や目標を抱く心の環境も整えていきます。

【学習のことについて】

- ・全国学力学習状況調査、長崎県学力調査、ながよ検定の結果と、児童の学習についての評価結果から、授業を通して、学習内容の知識理解、思考力判断力表現力については、力を高めています。主体的に学ぶという点については課題があります。コロナ禍の中で、子供たち同士の、言葉や行動で交流することに制限もあります。めあてとまとめが子供に届く授業を毎時間行ったり、発表の場の工夫や、文字言語での交流に取り組んだりしながら課題解決に取り組んでいきます。
- ・2や1と評価している児童を把握し、これまで以上に学ぶ喜びを味わえるように、わかる授業、補充学習、家庭学習を充実させていきます。

【先生や自分のことについて】

- ・毎月のなかよしアンケートの実施や、教師の積極的な児童への関わりにより、予防と早期発見、早期対応ができました。アンケートの教職員との関わりあう項目で3.7の高い評価からもそれがわかります。どの子供も安心して登校し、学校生活を送ることができるように、担任を中心に、すべての教職員が関わりながら、よさを認め、課題を解決できるように組織的な取組を続けていきます。自分のよさや、成長する喜びを共感することを通して、夢や希望を抱く心の育成にも取り組んでいきます。